



ステータスと統計情報の表示

この章では、ADU を使用して、クライアント アダプタのステータスと、その送受信の統計情報を表示する方法について説明します。

この章では、次の項目について説明します。

- [ADU のステータスと統計情報ツールの概要 \(P. 7-2\)](#)
- [ADU のステータスと統計情報ツールに影響するパラメータの設定 \(P. 7-2\)](#)
- [クライアント アダプタを管理するためのソフトウェアの選択 \(P. 7-4\)](#)
- [クライアント アダプタの現在のステータスの表示 \(P. 7-5\)](#)
- [クライアント アダプタの統計情報の表示 \(P. 7-14\)](#)

ADU のステータスと統計情報ツールの概要

ADU は、クライアント アダプタをさまざまなタイプのネットワークで使用できるように設定するツールのほか、クライアントアダプタと無線ネットワーク上の他のデバイスのパフォーマンスを評価するツールも提供します。これらのツールを使用すると、次の機能を実行できます。

- クライアントアダプタの現在のステータスおよび設定の表示
- クライアントアダプタのデータの送受信に関する統計情報の表示

表 7-1 を使用すると、ADU のステータスと統計情報ツールを使用する際の手順をすばやく検索できます。

表 7-1 ステータスと統計情報ツールの使用方法

ツール	ページ番号
ステータス	P. 7-5
統計情報	P. 7-14

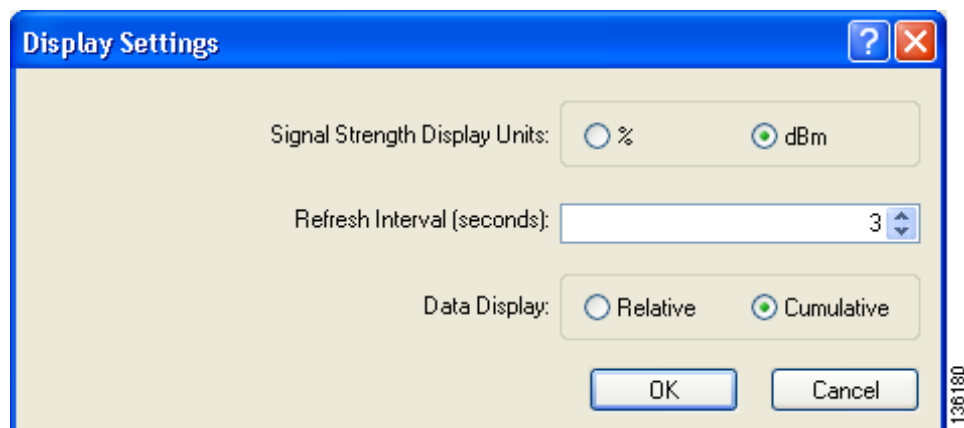
ADU のステータスと統計情報ツールに影響するパラメータの設定

いくつかのパラメータは、ADU のステータスと統計情報ツールの動作に影響を与えます。これらのパラメータを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 ADU を開きます。

ステップ 2 Options ドロップダウンメニューから **Display Settings** を選択します。Display Settings ウィンドウが表示されます (図 7-1 を参照)。

図 7-1 Display Settings ウィンドウ



ステップ 3 表 7-2 は、ADU のステータスと統計情報ツールの動作に影響を与えるパラメータとその説明を示しています。パラメータを変更する場合は、表の指示に従ってください。

表 7-2 ADU のステータスと統計情報ツールに影響を与えるパラメータ

パラメータ	説明						
Signal Strength Display Units	<p>Advanced Status ウィンドウで信号強度、および Available Infrastructure and Ad Hoc Networks ウィンドウで信号対雑音比を表示するために使用する単位を指定します。</p> <p>オプション：% または dBm</p> <p>デフォルト：dBm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>信号強度と信号対雑音比をパーセントで表示します。</td> </tr> <tr> <td>dBm</td> <td>信号強度をミリワットあたりのデジベル (dBm) で表示します。また、信号対雑音比をデジベル (dB) で表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	単位	説明	%	信号強度と信号対雑音比をパーセントで表示します。	dBm	信号強度をミリワットあたりのデジベル (dBm) で表示します。また、信号対雑音比をデジベル (dB) で表示します。
単位	説明						
%	信号強度と信号対雑音比をパーセントで表示します。						
dBm	信号強度をミリワットあたりのデジベル (dBm) で表示します。また、信号対雑音比をデジベル (dB) で表示します。						
Refresh Interval	<p>ADU のステータスと統計情報ウィンドウ、および ASTU アイコンを更新する時間間隔を指定します。</p> <p>値の範囲：1 ～ 5 秒の更新間隔 (1 秒単位)</p> <p>デフォルト：3 秒の更新間隔</p>						
Data Display	<p>Diagnostics および Advanced Statistics ウィンドウに表示するデータについて、ドライバがリロードされるまでのデータをすべて表示するのか、更新されるまで (1 ～ 5 秒ごと) のデータを表示するのかを指定します。</p> <p>オプション：Relative または Cumulative</p> <p>デフォルト：Cumulative</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Data Display</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Relative</td> <td>Refresh Interval で指定された間隔 (1 ～ 5 秒) でウィンドウが最後に更新されてから収集された統計情報データを表示します。</td> </tr> <tr> <td>Cumulative</td> <td>カードの挿入またはリブート時にドライバがロードされてから収集された統計情報データを表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	Data Display	説明	Relative	Refresh Interval で指定された間隔 (1 ～ 5 秒) でウィンドウが最後に更新されてから収集された統計情報データを表示します。	Cumulative	カードの挿入またはリブート時にドライバがロードされてから収集された統計情報データを表示します。
Data Display	説明						
Relative	Refresh Interval で指定された間隔 (1 ～ 5 秒) でウィンドウが最後に更新されてから収集された統計情報データを表示します。						
Cumulative	カードの挿入またはリブート時にドライバがロードされてから収集された統計情報データを表示します。						

ステップ 4 OK をクリックして、変更を保存します。

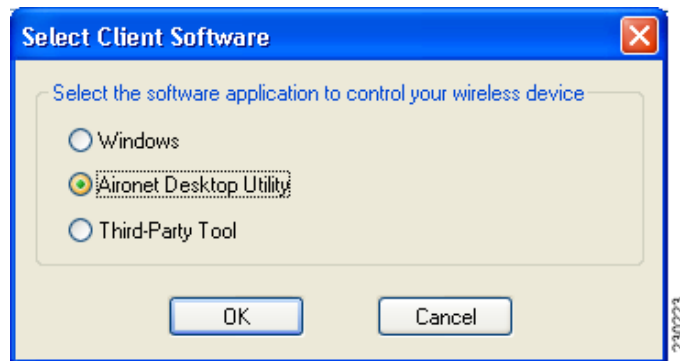
クライアントアダプタを管理するためのソフトウェアの選択

無線デバイスの情報の設定および表示に使用するソフトウェアを選択できます。ソフトウェアを選択する手順は、次のとおりです。

ステップ1 ADUを開きます。

ステップ2 Options ドロップダウンメニューから **Select Client Software** を選択します。Select Client Software ウィンドウが表示されます (図 7-2 を参照)。

図 7-2 Select Client Software ウィンドウ



ステップ3 無線デバイスの管理に使用するソフトウェアの横のラジオ ボタンをクリックします。

クライアントアダプタの現在のステータスの表示

ADU を使用すると、クライアントアダプタの現在のステータスだけでなく、アダプタの設定の多くも表示できます。クライアントアダプタのステータスと設定を表示するには、ADU を開きます。Current Status ウィンドウが表示されます (図 7-3 を参照)。

図 7-3 Current Status ウィンドウ

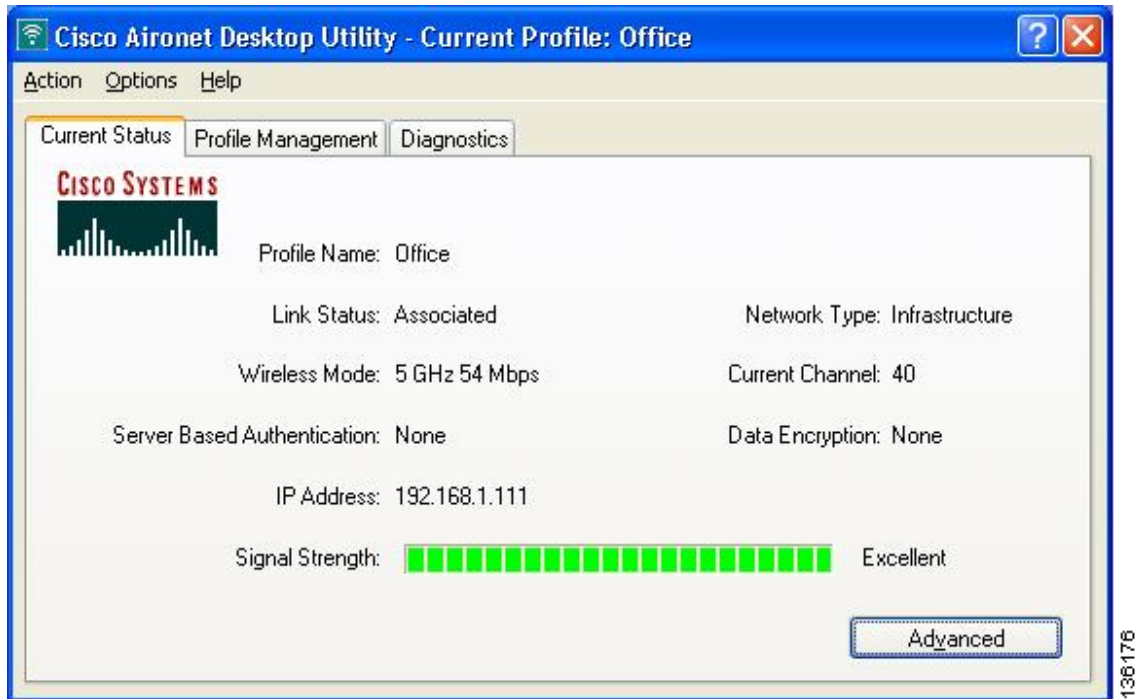


表 7-3 は、Current Status ウィンドウに表示される要素とその説明を示しています。

表 7-3 クライアントアダプタの基本ステータス


ステータス	説明
Profile Name	クライアントアダプタが現在使用しているネットワーク構成 (またはプロファイル)
	 (注) プロファイルの作成、修正、および選択方法については、 第4章 を参照してください。

表 7-3 クライアントアダプタの基本ステータス (続き)







ステータス	説明														
Link Status	<p>クライアントアダプタの動作モード</p> <p>値: Not Associated、Associated、Authenticating、Authenticated、Authentication Failed、または Authentication Failed Retrying</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Link Status</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Not Associated</td> <td>クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立していません。</td> </tr> <tr> <td>Associated</td> <td>クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立しています。</td> </tr> <tr> <td>Authenticating</td> <td>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、EAP 認証プロセスが開始されましたが、まだ成功していません。</td> </tr> <tr> <td>Authenticated</td> <td>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されています。</td> </tr> <tr> <td>Authentication Failed</td> <td>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされていますが、ユーザの EAP 認証に失敗しました。</td> </tr> <tr> <td>Authentication Failed Retrying</td> <td>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザの EAP 認証に失敗しましたが、認証を再試行しています。</td> </tr> </tbody> </table>	Link Status	説明	Not Associated	クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立していません。	Associated	クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立しています。	Authenticating	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、EAP 認証プロセスが開始されましたが、まだ成功していません。	Authenticated	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されています。	Authentication Failed	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされていますが、ユーザの EAP 認証に失敗しました。	Authentication Failed Retrying	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザの EAP 認証に失敗しましたが、認証を再試行しています。
Link Status	説明														
Not Associated	クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立していません。														
Associated	クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立しています。														
Authenticating	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、EAP 認証プロセスが開始されましたが、まだ成功していません。														
Authenticated	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されています。														
Authentication Failed	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされていますが、ユーザの EAP 認証に失敗しました。														
Authentication Failed Retrying	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザの EAP 認証に失敗しましたが、認証を再試行しています。														
Wireless Mode	<p>現在の無線接続でパケットの送受信が可能な周波数と速度</p> <p>値: 5GHz 54Mbps、2.4GHz 11Mbps、または 2.4GHz 54Mbps</p> <p></p> <p>(注) クライアントアダプタの無線モードの設定方法については、表 5-3 の Wireless Mode パラメータを参照してください。</p>														
Network Type	<p>クライアントアダプタが使用されているネットワークのタイプ</p> <p>値: Infrastructure または Ad Hoc</p> <p></p> <p>(注) ネットワークタイプの設定方法については、表 5-3 の Network Type パラメータを参照してください。</p>														
Server Based Authentication	<p>安全な接続を確立するために、バックエンドサーバに対して実行される認証方式</p> <p>値: None、LEAP、EAP-FAST、EAP-TLS、PEAP (EAP-GTC)、PEAP (EAP-MSCHAP V2)、または Host Based EAP</p> <p></p> <p>(注) これらのサーバベース認証タイプの詳細は、「セキュリティ機能の概要」の項 (P. 5-15) を参照してください。</p>														
IP Address	クライアントアダプタの IP アドレス														

表 7-3 クライアントアダプタの基本ステータス (続き)

ステータス	説明
Current Channel	<p>クライアントアダプタが通信用として現在使用しているチャンネル。クライアントアダプタがチャンネルを検出中のときは、このフィールドに <i>Scanning</i> と表示されます。</p> <p>値： 無線帯域および規制地域により異なる</p> <p></p> <p>(注) クライアントアダプタのチャンネル設定方法については、表 5-3 の Channel パラメータを参照してください。</p> <p></p> <p>(注) チャンネル識別番号、チャンネル中心周波数、および各チャンネルの規制地域のリストは、付録 D を参照してください。</p>
Data Encryption	<p>アソシエーション時にアクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) とネゴシエートされたデータ暗号化タイプ</p> <p>値： None、WEP、CKIP、TKIP または AES</p> <p></p> <p>(注) これらのデータ暗号タイプの詳細は、「セキュリティ機能の概要」の項 (P. 5-15) を参照してください。</p>
Signal Strength	<p>すべての受信パケットの信号の強度。このパラメータの進捗バーの色は、信号強度を視覚的に示しています。</p> <p>値： Excellent (緑)、Good (緑)、Fair (黄)、Poor (赤)、または No Link</p>

クライアントアダプタの詳細なステータス情報を表示するときは、**Advanced** をクリックします。Advanced Status ウィンドウが表示されます (図 7-4 を参照)。

図 7-4 Advanced Status ウィンドウ

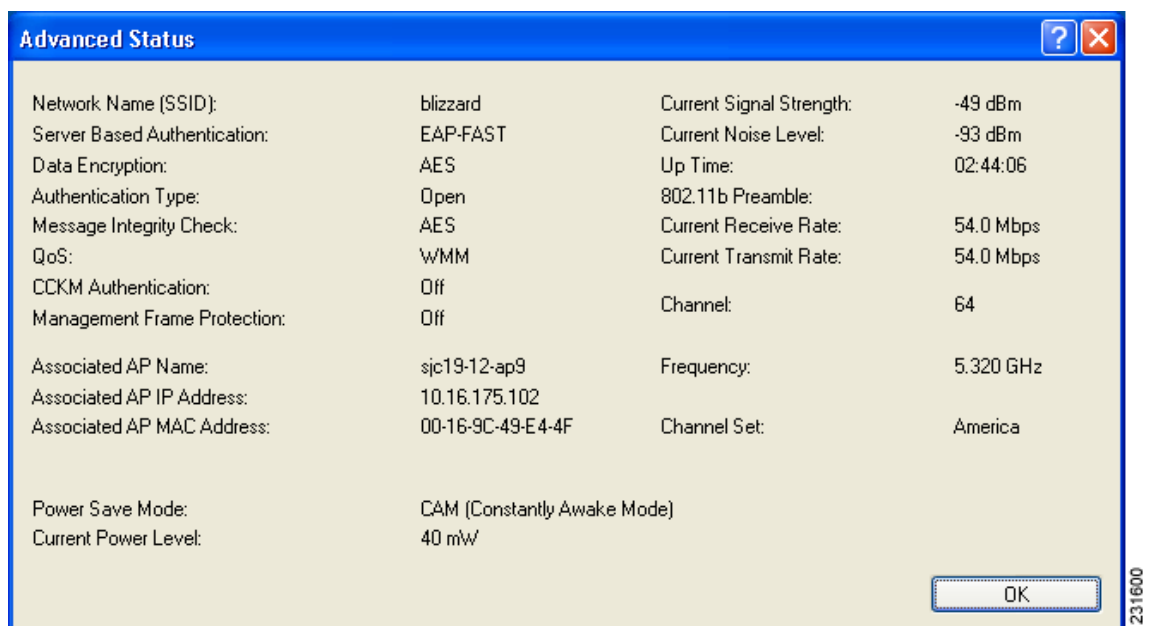


表 7-4 は、Advanced Status ウィンドウに表示される要素とその説明を示しています。

表 7-4 クライアントアダプタの詳細ステータス





ステータス	説明
Network Name (SSID)	<p>クライアント アダプタが現在アソシエートしているネットワークの名前</p> <p> (注) クライアントアダプタの SSID の設定手順については、表 5-2 の SSID1 パラメータを参照してください。</p>
Server Based Authentication	<p>安全な接続を確立するために、バックエンドサーバに対して実行される認証方式</p> <p>値： None、LEAP、EAP-FAST、EAP-TLS、PEAP (EAP-GTC)、PEAP (EAP-MSCHAP V2)、または Host Based EAP</p> <p>これらのサーバベース認証タイプの詳細は、「セキュリティ機能の概要」の項 (P. 5-15) を参照してください。</p>
Data Encryption	<p>アソシエーション時にアクセス ポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) とネゴシエートされたデータの暗号化タイプ。</p> <p>値： None、WEP、CKIP、TKIP、または AES</p> <p> (注) これらのデータ暗号タイプの詳細は、「セキュリティ機能の概要」の項 (P. 5-15) を参照してください。</p>
Authentication type	<p>クライアント アダプタがアクセス ポイントを認証するためにアクセス ポイントと同じ WEP キーを共有する必要があるか、または WEP 設定に関係なくアクセス ポイントを認証できるかを示します。</p> <p>値： Open または Shared</p> <p> (注) 選択した 802.11 認証タイプに関係なく、正しくない WEP キーを設定するとネットワークに接続できなくなります。</p> <p> (注) 802.11 認証モードの設定方法については、「拡張パラメータの設定」の項 (P. 5-6) を参照してください。</p>

表 7-4 クライアントアダプタの詳細ステータス (続き)



ステータス	説明								
Message Integrity Check	<p>クライアントアダプタがアクセスポイントとの間で送受信されたパケットの保護にメッセージ完全性チェック (MIC) を使用しているかどうかを示します。</p> <p>MIC は、暗号化されたパケットへのビットフリップ攻撃を阻止します。ビットフリップ攻撃では、暗号化されたメッセージが不正侵入者によって傍受され、簡単な変更が加えられます。その後、このメッセージは不正侵入者から再び送信され、受信側で正規のメッセージとして受信されます。</p> <p> (注) MIC はクライアントアダプタのドライブで自動的にサポートされますが、アクセスポイントで有効になる必要があります。</p> <p>値: None、MMH、または Michael</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Message Integrity Check</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>None</td> <td>MIC は無効になっています。</td> </tr> <tr> <td>MMH</td> <td>MIC は有効であり、CKIP とともに使用されています。</td> </tr> <tr> <td>Michael</td> <td>MIC は有効であり、WPA および TKIP とともに使用されています。</td> </tr> </tbody> </table>	Message Integrity Check	説明	None	MIC は無効になっています。	MMH	MIC は有効であり、CKIP とともに使用されています。	Michael	MIC は有効であり、WPA および TKIP とともに使用されています。
Message Integrity Check	説明								
None	MIC は無効になっています。								
MMH	MIC は有効であり、CKIP とともに使用されています。								
Michael	MIC は有効であり、WPA および TKIP とともに使用されています。								
QoS	<p>クライアントアダプタで現在使用されているサービスの品質 (QoS) のタイプです。無線 LAN (WLAN) で QoS を使用すると、トラフィックの分類に基づいて、WLAN 上のアクセスポイントからのトラフィックの優先順位が設定されます。</p> <p>値: None または WMM</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>QoS</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>None</td> <td>WMM 標準 QoS は無効です。</td> </tr> <tr> <td>WMM</td> <td>QoS に対する IEEE 802.11e WLAN 標準のコンポーネントの Wi-Fi Multimedia は有効です。この値を表示するには、クライアントアダプタがアソシエートされているアクセスポイントの QoS および WMM を有効にする必要があります。</td> </tr> </tbody> </table> <p> (注) WMM は、クライアントアダプタソフトウェアで自動的にサポートされます。ただし、WMM をサポートするには、Windows QoS Packet Scheduler を有効にする必要があります。QoS Packet Scheduler を有効にするには、「Wi-Fi Multimedia の有効化」の項 (P. 5-59) に記載されている手順に従ってください。</p>	QoS	説明	None	WMM 標準 QoS は無効です。	WMM	QoS に対する IEEE 802.11e WLAN 標準のコンポーネントの Wi-Fi Multimedia は有効です。この値を表示するには、クライアントアダプタがアソシエートされているアクセスポイントの QoS および WMM を有効にする必要があります。		
QoS	説明								
None	WMM 標準 QoS は無効です。								
WMM	QoS に対する IEEE 802.11e WLAN 標準のコンポーネントの Wi-Fi Multimedia は有効です。この値を表示するには、クライアントアダプタがアソシエートされているアクセスポイントの QoS および WMM を有効にする必要があります。								

表 7-4 クライアントアダプタの詳細ステータス (続き)

ステータス	説明
CCKM Authentication	<p>Cisco Centralized Key Management (CCKM) 認証がオンとオフのいずれになっているか。</p> <p>CCKM を使用すると、認証済みクライアント デバイスはあるアクセス ポイントから別のアクセス ポイントへローミングできますが、このとき、再アソシエーションに伴う遅延は感じられません。CCKM の詳細は、「CCKM 高速セキュア ローミング」の項 (P. 5-19) を参照してください。</p> <p>値： On または Off</p>
Management Frame Protection	<p>Management Frame Protection (MFP; 管理フレーム保護) がオンとオフのいずれになっているか。</p> <p>MFP が有効になっている場合、アクセス ポイントでは、Message Integrity Check Information Element (MIC IE; メッセージ完全性チェック情報要素) を各フレームに追加することによって、アクセス ポイントから送信される管理フレームが保護されます。フレームのコピー、変更、または再送を試行すると MIC が無効になるため、MFP フレームを検出するよう設定されているデバイスから不一致が報告されます。</p> <p>クライアント アダプタ ソフトウェアでは、クライアント アダプタがアソシエートされているアクセス ポイントでの MFP の設定方法に基づいて MFP が自動的に設定されます。アソシエートされているアクセス ポイントの MFP がオンになると、クライアントアダプタ ソフトウェアの MFP もオンになります。アソシエートされているアクセス ポイントの MFP がオフになると、クライアントアダプタ ソフトウェアの MFP もオフになります。</p> <p>値： On または Off</p>
Associated AP Name	<p>クライアント アダプタがアソシエートしているアクセス ポイントの名前。このフィールドが表示されるのは、クライアントアダプタがインフラストラクチャ モードで動作し、アクセス ポイントに名前が設定され、Aironet Extensions が有効になっている場合だけです (アクセス ポイントでは Cisco IOS リリース 12.2(4)JA 以降が実行されていること)。</p> <p> (注) このフィールドには、アクセス ポイント名が 15 文字まで表示されますが、実際はそれより長い場合があります。</p>

表 7-4 クライアントアダプタの詳細ステータス (続き)





ステータス	説明
Associated AP IP Address	<p>クライアントアダプタがアソシエートしているアクセスポイントの IP アドレス。このフィールドが表示されるのは、クライアントアダプタがインフラストラクチャモードで動作し、アクセスポイントに IP アドレスが設定され、Aironet Extensions が有効になっている場合だけです (アクセスポイントでは Cisco IOS リリース 12.2(4)JA 以降が実行されていること)。</p> <p> (注) Aironet Extensions が無効になっている場合、アソシエートされたアクセスポイントの IP アドレスは 0.0.0.0 と表示されます。</p>
Associated AP MAC Address	<p>クライアントアダプタがアソシエートしているアクセスポイントの MAC アドレス。クライアントアダプタがインフラストラクチャモードの場合にだけ表示されます。</p> <p> (注) このフィールドにはアクセスポイントのイーサネットポートの MAC アドレス (Cisco IOS ソフトウェアを実行していないアクセスポイントの場合)、またはアクセスポイントの無線の MAC アドレス (Cisco IOS ソフトウェアを実行しているアクセスポイントの場合) が表示されます。Cisco IOS ソフトウェアを実行するアクセスポイントのイーサネットポートの MAC アドレスは、デバイスの裏側のラベルに印字されています。</p>
Power Save Mode	<p>クライアントアダプタの現在の電力消費設定。</p> <p>値: CAM (Constantly Awake Mode)、Max PSP (Max Power Saving)、または Fast PSP (Power Save Mode)</p> <p> (注) クライアントアダプタのパワーセーブモードの設定方法については、表 5-3 の Power Save Mode パラメータを参照してください。</p>
Current Power Level	<p>クライアントアダプタが現在送信している電力レベル。最大レベルは、アダプタが使用している無線帯域と使用する国の規制当局によって異なります。</p> <p>値: 10、13、20、25、または 40mW (802.11a 帯域)、10、20、32、50、63、または 100mW (802.11b/g 帯域)</p> <p> (注) クライアントアダプタの電力レベルの設定方法については、表 5-3 の Transmit Power Level パラメータを参照してください。</p>

表 7-4 クライアントアダプタの詳細ステータス (続き)










ステータス	説明
Available Power Levels	<p>クライアントアダプタが送信可能な電力レベル。最大レベルは、アダプタが使用している無線帯域と使用する国の規制当局によって異なります。</p> <p>値： 10、13、20、25、または 40mW (802.11a 帯域)、 10、20、32、50、63、または 100mW (802.11b/g 帯域)</p> <p> (注) クライアントアダプタの使用可能な電力レベルについては、表 5-3 の Transmit Power Level パラメータを参照してください。</p>
Current Signal Strength	<p>すべての受信パケットの信号の強度。値が大きいほど、信号が強くなります。</p> <p>値の範囲：0 ~ 100% または 0 ~ -100dBm</p>
Current Signal Quality	<p>すべての受信パケットの信号の品質。値が大きいほど、信号が明瞭になります。</p> <p>値の範囲：0 ~ 100%</p> <p> (注) このフィールドは、信号強度をパーセントで表示するように選択した場合にのみ表示されます。詳細は、表 7-2 の Signal Strength Display Units パラメータを参照してください。</p>
Current Noise Level	<p>現在の無線帯域での背景の無線周波エネルギーのレベル。値が小さいほど、背景のノイズは減少します。</p> <p>値の範囲：0 ~ -100dBm</p> <p> (注) このフィールドは、信号強度を dBm で表示するように選択した場合にのみ表示されます。詳細は、表 7-2 の Signal Strength Display Units パラメータを参照してください。</p>
Up Time	<p>クライアントアダプタに電源が投入されてからの経過時間 (時間 : 分 : 秒)。アダプタが 24 時間以上稼働している場合は、「日数, 時間 : 分 : 秒」で表されます。</p>
802.11b Preamble	<p>クライアントアダプタが長い無線ヘッダーのみを使用しているのか、短い無線ヘッダーと長い無線ヘッダーの両方を使用しているのかを示します。</p> <p>値： Short & Long または Long Only</p> <p> (注) クライアントアダプタが 2.4GHz 11Mbps または 2.4GHz 54Mbps モードで動作している場合にのみ、このフィールドに値が表示されます。</p> <p> (注) 無線ヘッダーの使用方法については、表 5-3 の 802.11b Preamble パラメータを参照してください。</p>

表 7-4 クライアントアダプタの詳細ステータス (続き)

ステータス	説明
Current Receive Rate	<p>クライアントアダプタがデータパケットの受信に現在使用している速度</p> <p>値： 1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、または 54Mbps</p>
Current Transmit Rate	<p>クライアントアダプタがデータパケットの送信に現在使用している速度</p> <p>値： 1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、または 54Mbps</p>
Channel	<p>クライアントアダプタが通信用として現在使用しているチャンネル。クライアントアダプタがチャンネルを検出中のときは、このフィールドに <i>Scanning</i> と表示されます。</p> <p>値： 無線帯域および規制地域により異なる</p> <p> (注) クライアントアダプタのチャンネル設定方法については、表 5-3 の Channel パラメータを参照してください。</p> <p> (注) チャンネル識別番号、チャンネル中心周波数、および各チャンネルの規制地域のリストは、付録 D を参照してください。</p>
Frequency	<p>クライアントアダプタが通信用として現在使用している無線周波数。クライアントアダプタが周波数を検出中のときは、このフィールドに <i>Scanning</i> と表示されます。</p> <p>値： 無線帯域および規制地域により異なる</p> <p> (注) クライアントアダプタの周波数の設定方法については、表 5-3 の Wireless Mode パラメータを参照してください。</p>
Channel Set	<p>クライアントアダプタの現在の設定の基準となる規制地域。この値はユーザが設定することはできません。</p> <p>値： America、EMEA、Japan、または Rest of World</p> <p> (注) チャンネル識別番号、チャンネル中心周波数、および各チャンネルの規制地域のリストは、付録 D を参照してください。</p>

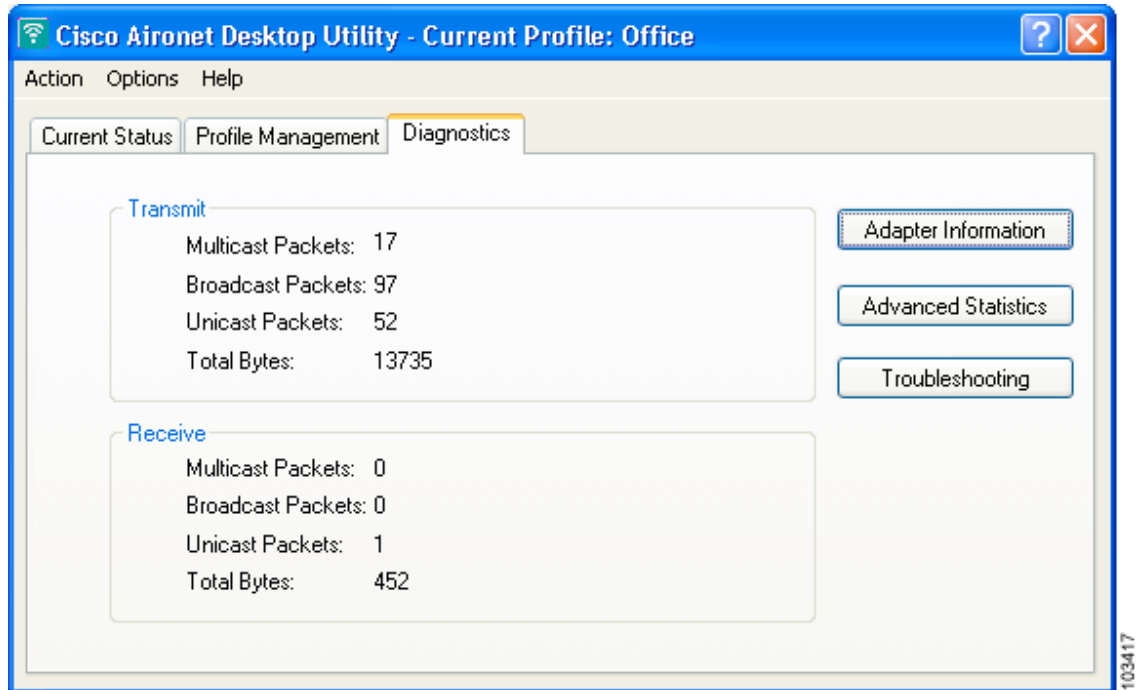
OK をクリックして、Advanced Status ウィンドウを閉じます。

クライアントアダプタの統計情報の表示

ADU を使用すると、クライアントアダプタでどのようにデータが送受信されたかを示す統計情報を表示することができます。

クライアントアダプタの統計情報を表示するには、ADU を開いて **Diagnostics** タブをクリックします。Cisco Aironet Desktop Utility (Diagnostics) ウィンドウが表示されます (図 7-5 を参照)。

図 7-5 Cisco Aironet Desktop Utility (Diagnostics) ウィンドウ



このウィンドウには、使用しているクライアントアダプタの基本送受信統計情報が表示されます。統計情報は、Data Display パラメータで指定した Relative または Cumulative の設定に基づいて計算され、Refresh Interval パラメータで指定したレートで継続的に更新されます。Data Display と Refresh Interval 設定の変更手順については、表 7-2 を参照してください。



(注) ここに表示される送受信の統計情報は、ホストの統計情報です。つまり、Windows デバイスで送信または受信されたパケットおよびエラーを示します。



(注) Cisco Aironet Troubleshooting Utility を実行するには、**Troubleshooting** をクリックします。詳細は、「Cisco Aironet Troubleshooting Utility の使用」の項 (P. 10-3) を参照してください。



(注) クライアントアダプタの情報を表示するには、**Adapter Information** をクリックします。詳細は、「クライアントアダプタ情報の表示」の項 (P. 9-10) を参照してください。

表 7-5 は、表示されるクライアントアダプタの統計情報とその説明を示しています。

表 7-5 クライアントアダプタの基本統計情報

統計情報	説明
送信統計情報	
Multicast Packets	送信されたマルチキャストパケットの数
Broadcast Packets	送信されたブロードキャストパケットの数
Unicast Packets	問題なく送信されたユニキャストパケットの数
Total Bytes	問題なく送信されたデータのバイト数
受信統計情報	
Multicast Packets	受信されたマルチキャストパケットの数
Broadcast Packets	受信されたブロードキャストパケットの数
Unicast Packets	問題なく受信されたユニキャストパケットの数
Total Bytes	問題なく受信されたデータのバイト数

クライアントアダプタの詳細な統計情報を表示するときは、**Advanced Statistics** をクリックします。Advanced Statistics ウィンドウが表示されます (図 7-6 を参照)。

図 7-6 Advanced Statistics ウィンドウ

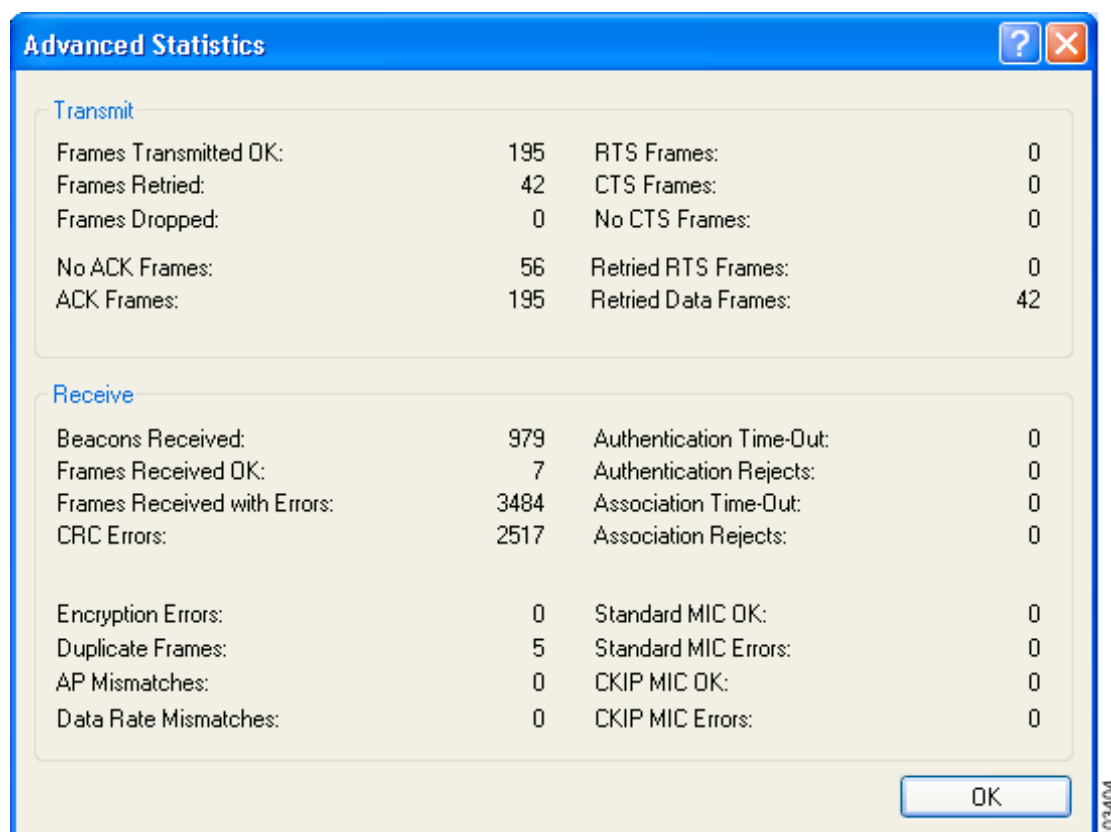


表 7-6 は、Advanced Statistics ウィンドウに表示される要素とその説明を示しています。

表 7-6 クライアントアダプタの詳細統計情報



ステータス	説明
送信統計情報	
Frames Transmitted OK	問題なく送信されたフレームの数
Frames Retried	再試行されたフレームの数
Frames Dropped	エラーまたはコリジョンが発生したために、廃棄されたフレームの数
No ACK Frames	対応する確認応答 (ACK) フレームが受信されなかった送信フレームの数
ACK Frames	対応する確認応答 (ACK) フレームが問題なく受信された送信フレームの数
RTS Frames	試行された Request to Send (RTS) 送信の数
CTS Frames	問題なく送信された RTS フレームの応答として受信された Clear to Send (CTS) フレームの数
No CTS Frames	失敗した Request to Send (RTS) 送信の数。アクセス ポイントがクライアントの RTS フレームに対応して CTS フレームを送信します。このフィールドは、クライアントがアクセス ポイントから CTS を受信しないたびに記録します。
Retried RTS Frames	再送信された Request to Send (RTS) フレームの数
Retried Data Frames	再送信された正常なデータ フレームの数
受信統計情報	
Beacons Received	問題なく受信されたビーコン フレームの数
Frames Received OK	問題なく受信されたすべてのフレームの数
Frames Received with Errors	無効なチェックサム付きで受信されたフレームの数
CRC Errors	フレームのデータ部分で検出された巡回冗長検査 (CRC) エラーの数
Encryption Errors	暗号化エラー付きで受信されたフレームの数
Duplicate Frames	受信された重複フレームの数
AP Mismatches	<p>クライアント アダプタがアクセス ポイントにアソシエートしようとしたが、アクセス ポイントがアダプタの指定アクセス ポイントでなかったためにアソシエートできなかった回数</p> <p> (注) アクセス ポイントの指定方法については、P. 5-13 の Access Point 1 から Access Point 4 のパラメータを参照してください。</p>
Data Rate Mismatches	<p>クライアント アダプタがアクセス ポイントにアソシエートしようとしたが、アダプタのデータ レートがアクセス ポイントでサポートされていないためにアソシエートできなかった回数</p> <p> (注) サポートされているデータ レートについては、表 5-3 の Wireless Mode パラメータを参照してください。</p>

表 7-6 クライアントアダプタの詳細統計情報 (続き)

ステータス	説明
Authentication Time-Out	クライアントアダプタがアクセスポイントに認証を試みたが、アクセスポイントから時間内に応答がなかった (タイムアウト) ために認証を得られなかった回数
Authentication Rejects	クライアントアダプタがアクセスポイントに認証を試みたが拒否された回数
Association Time-Out	クライアントアダプタがアクセスポイントにアソシエートしようとしたが、アクセスポイントから時間内に応答がなかった (タイムアウト) ためにアソシエートできなかった回数
Association Rejects	クライアントアダプタがアクセスポイントにアソシエートしようとしたが拒否された回数
Standard MIC OK	正しいメッセージ完全性チェック (MIC) 値で受信されたフレームの数
Standard MIC Errors	メッセージ完全性チェック (MIC) 値が正しくなかったために廃棄されたフレームの数
CKIP MIC OK	CKIP を使用しているときに、正しいメッセージ完全性チェック (MIC) 値で受信されたフレームの数  (注) このフィールドは、MIC がアクセスポイントで有効になっていない場合は表示されません。
CKIP MIC Errors	CKIP を使用しているときに、メッセージ完全性チェック (MIC) 値が正しくなかったために廃棄されたフレームの数  (注) このフィールドは、MIC がアクセスポイントで有効になっていない場合は表示されません。

OK をクリックして、Advanced Statistics ウィンドウを閉じます。

■ クライアントアダプタの統計情報の表示